



年 組 名前

道新で
ワークシート

老若男女「〇活」浸透

就活や婚活など「活動」を略す「〇活」との表現が、若者から高齢者までの幅広い世代で浸透していることが25日、文化庁の2019年度国語に関する世論調査で分かった。慣用句を本来の意味で捉えていたのは、「敷居が高い」「浮足立つ」で3割に届かなかった。

新しい表現を他人が言うのは気になるかを聞いたところ、「〇活」は82・5%、クールビズなどの「〇ビズ」は87・6%、アラサーのよう

慣用句の意味

慣用句の使い方

文化庁、国語世論調査

慣用句の意味をどう理解しているか

手をこまねく	何もせずに傍観している ●	37.2%
	準備して待ち構える	47.4
敷居が高い	相手に不義理をして行きにくい ●	29.0
	高級すぎたり上品すぎたりして入りにくい	56.4
浮足立つ	喜びや期待で落ち着かずそわそわしている	60.1
	恐れや不安で落ち着かずそわそわしている ●	26.1
今までのことを改め、最初から始めること	新規まき直し ●	42.7
	新規まき返し	44.4
前に負けた相手に勝つこと	雪辱を果たす ●	38.3
	雪辱を晴らす	50.5
よく分かるように丁寧に説明すること	噛(か)んで含むように	31.9
	噛んで含めるように ●	50.5

[●は本来の意味、使用法]

気にならぬ90% 終活タピ活…

「敷居が高い」=「高級で入りにくい」56%

に年齢の前後を意味する「アラ」は75・9%が違和感を抱いていなかった。一方で、まじまじ見るを表す「ガン見」など強調で使う「ガン」は57・6%にとどまった。

新表現を「自分は使う」とした人は、最多の「〇ハラ」で58・1%にとどまり、いずれの表現も許容する割合より大幅に少なかった。「ガン」は26・6%だったが、20代では66・2%、10代は77・3%に上った。

慣用句では、「敷居が高い」を本来の意味の「相手に不義理をして行きにくい」と答えたのは29・0%で、56・4%が「高級すぎたり上品すぎたりして入りにくい」を選んだ。「浮足立つ」は、本来の「恐れや不安で落ち着かずそわそわしている」が26・1%だったのに対し、「喜びや期待でそわそわしている」が60・1%だった。

「前に負けた相手に勝つこと」を表現する際にどちらを使うか尋ねた設問では、「雪辱を晴らす」が50・5%。全ての年代で、本来の「雪辱を果たす」を上回った。

調査は今年2～3月に実施し、全国の1994人が回答した。



年 組 名前

道新で ワークシート

①記事内に出てくる「雪辱」の意味について考えてみましょう。

(1)次に挙げるものは、「雪」と「辱」の意味を漢字辞典で調べたものです。
「雪辱」に適した意味は、それぞれどれでしょう。

「雪」 ア ゆき
イ 白いものの形容
ウ きよい
エ すすぐ そそぐ
オ ぬぐう

☐

「辱」 ア けがす けがれる
イ はずかしめる
ウ はじ
エ くっする かがむ
オ かたじけない(もったいない ありがたい)

☐

(2)記事では「雪辱」を、「前に負けた相手に勝つこと」を表現する際に使う言葉として紹介されています。「雪辱」の意味としてふさわしいのは次のうちどれでしょう。

ア けがれた雪 雪をけがすこと
イ 清いものがけがれること
ウ 雪をぬぐうこと ぬぐった雪
エ 清いものに屈すること
オ ありがたい雪 雪がもったいない様子
カ 恥をすすぐこと
キ 清い恥

☐

②慣用表現の中には、「雪辱を果たす」のように、その言葉のもつ意味が分かった正しい使い方や表現の仕方が分かることがあります。次の5つの慣用句で、□に入る言葉として正しいものを選びましょう。

(1)的を

☐

ア 得る イ 射る

(2)溜飲を

☐

ア 下げる イ 晴らす

(3)取り付く

☐

もない

ア 暇(ひま) イ 島

(4)二の句が

☐

ア 出ない イ 継げない

(5)上

☐

下への大騒ぎ

ア や イ を